

創立60周年記念式典

2025年10月10日(金)

繋ごう 次の世代へ

西仙北高校は創立60周年を迎え、『創立60周年 繋ごう 次の世代へ』のキャッチフレーズを掲げ、準備を進めて参りました。式典にはご来賓の方々、実行委員会、同窓会、職員、PTA、生徒、約130名ほどの参加となりました。お忙しいところご出席いただきありがとうございました。



西仙北高校は、大曲農業高校の刈和野分校として設置されましたが、昭和40年に独立した高校となりました。「地域へ高校を」という強い願いがここまで西仙北高校を支えてくれたのだと感じました。60周年を迎え、少子化や生徒減など問題はたくさんありますが、新たな挑戦をし続けることを誓い、さらなる発展を目指します。

現在、西仙北高校の在籍数 講演会司会 郁人さん、美空さんは25名。周年行事に向けて準備や当日の役割分担は1人1人の力がとても重要でした。本当に、よく頑張ってくれました。



記念講演会

講演会司会 蒼天さん、愛華さん

リオデジャネイロオリンピックに出場した佐々木将汰さんと翼さん兄弟をお迎えして、「オリンピックまでの道のり」という題で講演していただきました。事前に生徒から質問を受け付け、蒼天さんと愛華さんの司会で講演会は進んでいきました。



左から 佐々木将汰さん、翼さん

Q. カヌーをやっていて楽しかったことは？

A. 水を滑る感覚が気持ちよかった。

Q. 食事で気をつけていたことはありますか？

A. 自分の体に合わせたサイズのボートをオーダーして乗るので、体重管理に気をつけていた。トレーニングで痩せてしまうので食トレ（たくさん食べる）が大変だった。

Q. カヌーをやっていて悔しかったことは？

A. 悔しい思いしかない。ただし、オリンピック出場を決めたアジア最終予選ではライバルに勝って決めたので、満足できる試合だった。

Q. カヌーをやっていなかったら何をしてた？

A. ロードバイク(将汰さん)、野球(翼さん)